

## 2017年版 第1章の方向性(案)

1. 2009年版のガイドラインの要素を踏襲しつつ、事業者の目線で有用な要素を新たに入れ、事業者の興味及び環境への取組を促す
2. 各章の冒頭部分に相当する概要を記載し（アウトライン案 3.2）、事業者によるEA21の全体像及び概要が理解できる章とする。
3. 図表を多用し、読者（事業者）の直感的な理解を促進する。

## 現行版（2009年版）ガイドライン項目

## 2017年版 第1章アウトライン（案）（括弧内番号は現行版の該当箇所）

下線部は、新規追加項目

### 序章 EA21の改訂にあたって

序-1. EA21が「ガイドライン」策定の背景

序-2. EA21の環境政策上の位置付け

序-3. ガイドライン改訂の方向性

序-4. ガイドラインの主な改訂ポイント

### 第1章 EA21が「ガイドライン」2009年版の概要

1-1. EA21とは

1-1-1. ◆環境経営（マネジメント）システムとは

1-1-2. ◆環境経営（マネジメント）システムを構築するメリット

1-2. EA21の特徴

1-3. EA21の構成

1-4. EA21の取組のフロー

### 1. EA21の背景（事業者を取り巻く社会の状況と活動）

1.1 地球温暖化防止(COP21)、資源枯渇（水・その他資源）、化学物質管理及び廃棄物問題等への対応必要性

1.2 環境・社会への取組が企業価値・取引条件に反映され、経営の一部となる時代へ（サステナビリティ、VC等）

1.3 環境と経営の融合、環境経営の重要性の高まり：SDGs、EA21、ISO14001改訂（1-2）

### 2. EA21の特徴

2.1 EA21とは（中小企業の環境経営、明確な環境の取組、コミュニケーション支援、スパイラルアップ）（1-1, 1-1-1, 1-2）

2.2 EA21を通じて実現できること/メリット（EA21の活動と経営面への貢献をまとめた表等を作成）（1-1-2, 1-3）

2.3 EA21の概要（経営の中の環境、PDCAサイクル、スパイラルアップ、審査人によるサポート、環境側面からの経営力向上ツール、事業者レベルに応じた審査・アドバイス）（1-1, 1-2）

2.4 EA21関連政策、法規等（序-2）

2.5 EA21認証・登録制度の概要（認証・登録の基本的要件、業種別ガイドラインと実施要領等、認証・登録の手順、認証・登録料等、EA21の使用名称等）

### 3. EA21ガイドライン2017年版主な改訂点及び構成

3.1 改訂にあたって（序-1, 序-3, 序-4）

3.2 ガイドライン全体の章構成及び各章の概要（1-3）

### 4. EA21の実施方法

4.1 要求事項に係る解説、PDCAサイクルに基づく実施（1-4）

### 5. EA21に基づく対話・コミュニケーション

5.1 環境情報を用いたコミュニケーションとその組織内外での効果

5.2 レポートの活用法の例示：形式/作成マニュアル等の外部活用情報について

5.3 CO<sub>2</sub>排出等に係るデータベースの構築及び社会的ニーズに応じた公開